

令和6年度「多忙化改善計画」について

甲府市立新田小学校

「教職員が子どもたち一人一人と向き合う時間」や「授業づくりのための教材研究の時間」を確保して、私たちの本来の業務が確実に行うことができるような取組を進めてまいります。

以下の取組を通して、児童・保護者・地域・教職員の誰もが、しあわせ・安心を感じるができる学校づくりを目指していきます。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1 会議の効率化に努めます

- ・職員会議をはじめとする校内会議の資料はペーパーレス化するとともに、会議時間の短縮を図ります。
- ・討議事項と連絡事項を明確に区別して、会議の運営を行います。
- ・全体で集まる終礼等の打ち合わせは、週1回（必要に応じて実施）とし、伝達事項は、クラスルームなどで共有するなど工夫します。

2 学校行事の内容・方法について見直し、改善を図ります

- ・子どもの思いや目指す児童像を基準に、これまでの積み重ねで増えてしまっている学校行事等について、内容や方法の工夫を図り、見直します。

3 業務の仕方について共通理解を図りながら、改善に努めます

- ・業務の軽重や優先順位を検討し、効率的に業務に当たります。
- ・迅速に対応すべき業務や案件については、スピード感と丁寧さをもって取り組みます。
- ・児童の下校後の時間は、授業準備等の時間に利用するようにしていきます。

4 出退勤時間の管理を行い、心身共に健康な状態で児童に向き合うことができるように努めます

- ・時間外勤務時間の月合計時間が、平均40時間を超えないようにしていきます。
- ・留守番電話の活用により、時間外勤務時間の縮減を図ります。
- ・個々の職員の勤務状況による定時退勤日を設定していきます。

5 学校内外の環境整備を行い、児童・教職員にとってよりよい環境になるよう努めます

- ・誰にも「わかりやすい」「つかいやすい」を意識した、UD（ユニバーサルデザイン）の考えを意識した環境整備を行います。
- ・地域人材や教育支援ボランティアの効果的な活用を行います。